



2021.5 No.107

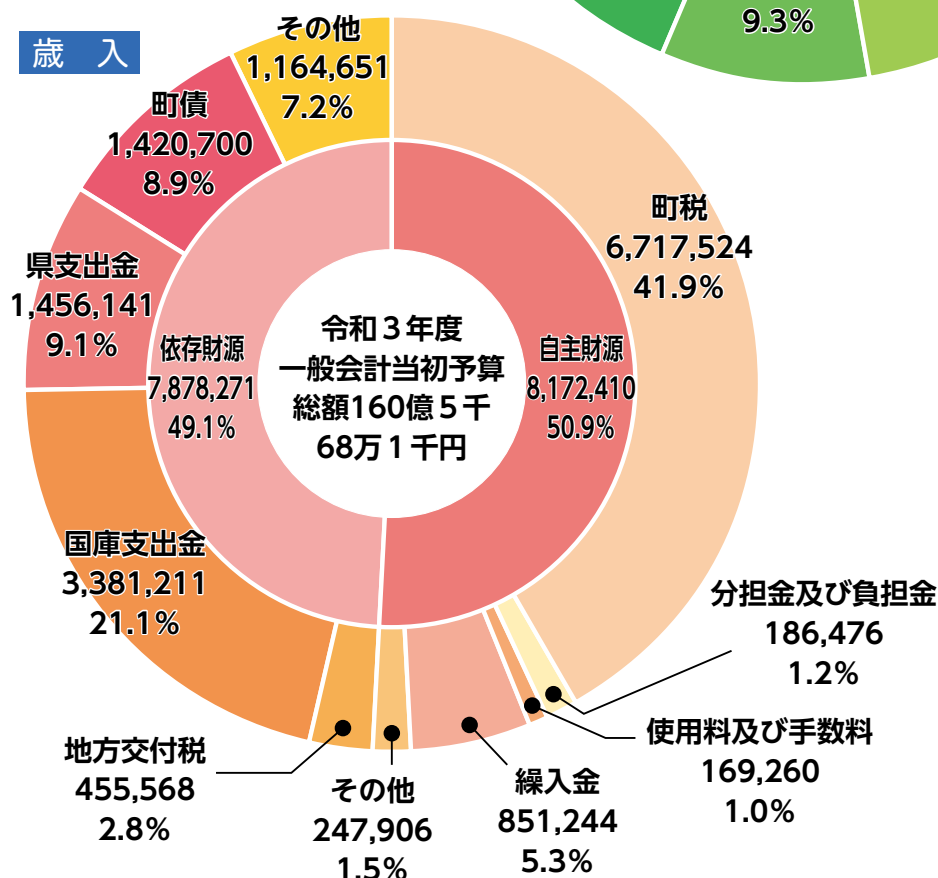
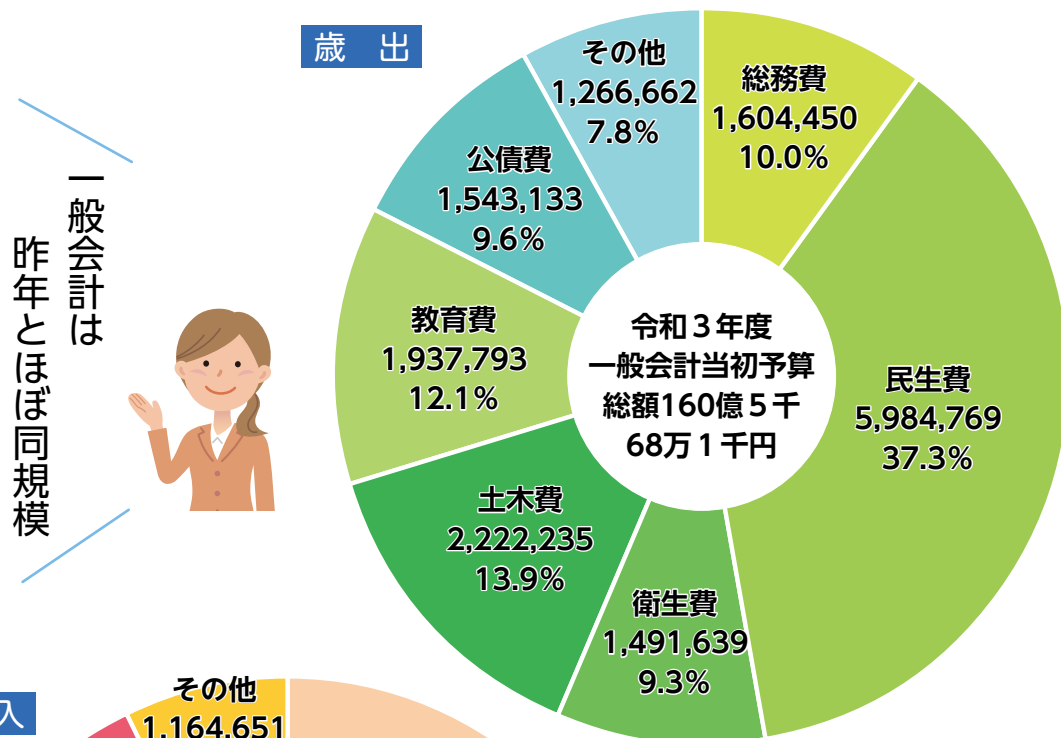
きくよう



◎表紙	一般質問	P8~12
目次	令和3年度予算	P2~3
	各常任委員会報告	P4~5
	令和3年第1回定例会	P6~7
	政務活動費の収支報告等を公開	P13
	Tea Time	P14

令和3年度当初予算が可決されました

一般会計	160億	5,068万1千円	(0.1%増)
特別会計	83億	4,075万4千円	(5.1%増)
下水道事業会計	22億	74,721万9千円	(11.8%減)
総額	266億	6,865万4千円	(0.4%増)



3月定例会は、3月2日から19日まで開かれ、令和3年度当初予算をはじめ、第6期菊陽町総合計画基本構想や令和2年度補正予算などを審議し、いずれも可決した。

ポイント2

総合体育館建築工事費用

13億3,700万円

菊陽杉並木公園を拡張し、総合体育館を7月より工事着工予定



ポイント1

新型コロナワクチン接種体制確保事業

2億210万円

新型コロナワクチン接種体制確保のための予算



ポイント4

菊陽北小学校建設費

5億6,222万円

児童数の増加により、菊陽北小学校の増改築工事が必要となった



ポイント3

(仮称) 防災センター整備事業

5,656万円

現在建築工事中の(仮称)防災センターの事業費



令和3年度当初予算は、一般会計・特別会計等総額266億6,865.4万円が可決しました。多岐にわたって様々な事業がありますが、いずれの事業も住民生活に深くかかわりますので、議会としてしっかりと慎重に審議をおこないました。

その中でも特に上記の4項目は、新規の事業や防災減災対策整備、新型コロナ対策関連ということでポイントとして挙げました。

各常任委員会の報告

文教厚生常任委員会

委員長・佐々木理美子

付託事項

- 認定第15号 「令和3年度菊陽町一般会計予算」のうち文教厚生常任委員会に属する事項について
- 議案第18号 令和3年度菊陽町国民健康保険特別会計予算について
- 議案第19号 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第20号 令和3年菊陽町介護保険特別会計予算について

全員賛成で可決

- 請願第1号 国の責任による40人学級を展望した少人数学級の前進を求める請願

賛成多数で可決

図書館

○図書購入は何を参考にしていいのか。

○A 新刊が掲載される新刊案内や新聞やネット及びツタヤに出向き情報を収集している。



○Q コロナ対策は、マスク着用と検温は必ずしてもらおう。サーマルタブレットと図書消毒機を設置した。館内は常時換気して感染拡大防止に努めている。

学務課

○Q 借上料のパソコン教育機器は、ギガスクールも含むのか。

○A 全体整備の3分の2は購入、3分の1はリース

総務常任委員会

委員長・西本友春

付託事項

- 認定第15号 「令和3年度菊陽町一般会計予算」のうち総務常任委員会に属する事項について

賛成多数で可決

- 議案第16号 令和3年度菊陽町土地取得特別会計予算について

全員賛成で可決

東部町民センター

○コロナの影響としては、施設利用で約50%の減となっているが、主催講座は極力やっていたり努力をして約20%の減で維持している。

人権・啓発課

○団体助成金の減額交渉は行っているが、削減にはなっていないが、年度末の採算の際には領収証等の資料提出とチェックを行っている。令和2年度の助成金はコロナの影響による会議や大会が中止となったために例年の半分になる予想。

財政課

○公用車は使用期間が長いために現在は購入しているが、今後は車検代や修理費等を含めてリースとの比較検討を行う。また、電気料金も電力の入札を行うための契約方法など手法について準備を進めている。

会計課

○令和2年度から実施しているコンビニ収納の件数は12月末現在33,390件で納付書支払全体の約25%で見込みより上回った。

総合政策課

○ふるさと寄付金は令和2年度は歳入が約960万円、歳出が約450万円で、令和3年度は歳入5千万円を目標として、広告費・手数料・委託料・ポ

産業建設常任委員会

委員長・坂本秀則

付託事項

- 議案第15号 「令和3年度菊陽町一般会計予算」のうち産業建設常任委員会に属する事項について
- 議案第17号 令和3年度菊陽町工業団地造成事業特別会計予算について
- 議案第21号 令和3年度菊陽町下水道事業会計予算について

全員賛成で可決

建設課

○A Q 下戸橋修繕の内容は。下戸橋は県より譲渡されたが、当時の資料がなく、構造もわからない。修繕内容の決定や構造等を精査するため、地質調査及び測量をする。

○A Q 佐渡原橋及び川久保南方線の整備計画は。

○A 令和3年度で佐渡原橋の測量設計を行う。川久保南放線の整備については総合計画と整合をとりながら検討していく。

都市計画課

○A Q 柳水湧水公園について調査の結果、水がない場合は埋め立てて広場化することも考えているのか。調査費用として予算計上しているが、井戸を掘り水を湧かす方向で検討している。

○A Q 原水駅周辺整備計画のスケジュールは。

○A 平成30年度に土地区画整理事業でいうA調査を行った。今度B調査を行い、それを基に次期都市計画区域マスタープランに位置づけが可能なかと協議する。令和5年度には位置づけが可能な明らかになると思われる。その結果、以降のスケジュールが見えてくる。

契約。そのリース契約分の借上料である。
Q 中学校英語検定は。昨年までは中学3年生が対象だったが、本年度から2年生まで補助を広げた。

生涯学習課

Q 地域未来塾の活動や謝礼はどうなっているのか。
A 民間の塾に通っていない中学3年生を対象に、英語・数学・国語の授業をする公的な塾である。支援者は教員OBや大学生などをお願いしている。



タブレット端末での授業風景

施設整備課

Q 菊陽北小学校の給食室の委託内容は。
A 現在423食対応だが、児童増加のため、800食対応できるように考えている。

町民課

Q マイナンバーカードの発行状況は。
A 二月末で申請1万3770件。交付率は25.4%。交付率が上がったのは、マイナンバーポイントや公務員の先行取得、健康保険証として利用開始があったため。

福祉課

Q 民生児童委員の状況は。
A 不在地区が10地区ある。

健康・保険課

Q 大きく健康クラブが町民の健康増進につながっているのか。
A 健康づくりの興味を持たせる事に主眼をおき参加者も増えている。医療分析はしていない。

後期高齢者医療特別会計

Q 後期高齢者医療者の対象者は。
A 約4,020名だ。毎年160名程度増加している。

タルサイト使用料などを計上して取り組むこととしており、返礼品も増やすこととしている。

返礼品ベスト3



馬刺セット



野菜セット



みそ詰め合わせセット

巡回バスの西部線が月・水・金のみの運行で頻度を上げてほしいとの声があり既存の路線との重複があるので事業者と協議しながら検討していく。

また、乗合タクシーは病院への利用が多く、行きは乗合タクシー帰りは通常のタクシーといった利用が多いことと、行き帰りで時間が合わないとの要望を踏まえ、地域公共交通会議でも議論しながら進めていく。



税務課

歳入の町民税(個人)はリーマンショックの比率を参考に8%の減と予測しており、町民税(法人)は交付率が9.7%から6%に引き下げられたもの。

危機管理防災課

県が進めている土砂災害警戒区域の追加と、最大浸水想定区域の見直しを策定されたのを受けて、総合防災マップ2万部を作成する。

防災備蓄倉庫整備補助は、防災用として地区で倉庫を整備する場合、25万円を上限としてその費用の3分の1を補助する。

総務課

文書配布委託は配布業者と町で情報を共有して、リストアップし、毎回配布する人へ引継ぎしており、情報が蓄積してきたので、だいぶ配布漏れは少なくなってきた。ただ、自治会経由で配られていたときは、早いところでは発行日からすぐ配られていたが、今回は町全体の配布を概ね10日間で完了する内容の契約となっており、場合によっては届くまで10日程度かかることがある。

下水道課

Q 杉並台ポンプ場の維持管理負担金はどのような協定を結んでいるのか。
A 合志市と水量比に基づく費用負担としている。

環境生活課

Q 焼却ごみの搬入先がクリーンの森合志に変わることにより運搬距離が短縮されるが、収集運搬業務委託料に反映されているのか。
A 積算内訳では、運搬距離が短くなるので、燃料代をその分減らしている。

農政課

Q 森林整備委託料と森林環境譲与税基金積立金について具体的な説明を求め。
A 森林環境譲与税は国が確保し市町村へ配分している。町には年間約370万円が配分されている。町では譲与税を活用し森林所有者に対し、維持管理に関する意向調査を業者に委託している。残額は今後の作業委託料として基金積立を予定している。

農業委員会

Q 現在の耕作放棄地の面積は。
A 約4haある。

商工振興課

Q 誘致企業への補助金で5千万円計上しているが、対象会社は何社か。
A 5社を想定している。

Q 仮称第2原水工業団地の用地交渉は順調に進んでいるか。
A 新たに4名の方と契約を締結した。残りの地権者は9名である。用地交渉は順調に進んでいる。



産業建設常任委員会の視察

令和3年第1回菊陽町議会定例会

3月議会で上程された案件は、議案40件であった。令和2年度補正予算、令和3年度一般会計予算、特別会計予算とも慎重に審議された。3月議会の会期は、3月2日～3月19日まで。

付議事件

下記34議案については、全員賛成で可決

- ◇承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度菊陽町一般会計補正予算第7号）
- ◇議案第1号 菊陽町子育て支援施設等整備基金条例の制定について
- ◇議案第2号 菊陽町手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇議案第3号 菊陽町老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇議案第4号 菊陽町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇議案第5号 菊陽町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇議案第6号 菊陽町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇議案第7号 菊陽町指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
- ◇議案第9号 令和2年度菊陽町土地取得特別会計補正予算（第1号）について
- ◇議案第10号 令和2年度菊陽町工業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）について
- ◇議案第11号 令和2年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について
- ◇議案第12号 令和2年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について
- ◇議案第13号 令和2年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第3号）について
- ◇議案第14号 令和2年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第3号）について
- ◇議案第16号 令和3年度菊陽町土地取得特別会計予算について
- ◇議案第17号 令和3年度菊陽町工業団地造成事業特別会計予算について
- ◇議案第21号 令和3年度菊陽町下水道事業会計予算について
- ◇議案第22号 基本構想を定めることについて
- ◇議案第23号 字の区域の変更について
- ◇同意第1号～9号 菊陽町農業委員会の委員の任命について
- ◇請願第1号 国の責任による「30人学級」を展望した小人数学級の前進を求める請願
- ◇議案第25号 工事請負契約の締結について（菊陽杉並木公園拡張整備雨水調整池築造工事）
- ◇議案第26号 工事請負契約の締結について（菊陽杉並木公園拡張整備擁壁築造工事（その1））
- ◇発議第1号 菊陽町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- ◇発議第2号 35人学級編制に伴う教育環境整備に関する意見書（案）
- ◇発議第3号 国の責任による「30人学級」を展望した小人数学級の前進を求める意見書（案）

他6議案については、賛成多数で可決

◇議案第8号
令和2年度菊陽町一般会計補正予算(8号)について

〔Q〕 阪本俊浩議員

地域おこし協力隊の報酬、特産品製造・販売推進補助金、次世代人材投資事業交付金の予算が執行されていない理由は、支出金3,162万8千円減額補正となっている理由は。

〔A〕

地域おこし協力隊は、コロナの影響で募集が出来なかった。
特産品製造・販売促進補助金は新規事業について申請がなかった。

次世代人材投資事業交付金は当初5人から相談があったが、最終的に申請がなかった。
国、県の予算配分と交付決定による減額。

〔Q〕 廣瀬英二議員

光の森駅歩道橋整備事業の総工事費をどのくらい見込んでいるのか。

〔A〕

2年間計画で総工事費2億5千万円を予定している。
今回の予算で、歩道橋

の工場製作の発注を予定している。
翌年度に、現地での組立工事を発注する予定である。

〔Q〕 甲斐榮治議員

光の森駅前横断関連で、1億5,700万円計上されているが、町が負担するのか。

〔A〕

橋台が予定されている場所の地質調査、細設計等で、費用が算出されてからの協議となる。

〔Q〕 渡辺裕之議員

新型コロナウイルス感染症防止対策支援事業補助金7,000万円の事業内容は。

〔A〕

これまでやってきた事業とは別に、県で新たな事業が計画されており、その対象者に対する支援となっている。

◇議案第15号 令和3年度菊陽町一般会計予算について

反 対 小林久美子議員	賛 成 阪本俊浩議員
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策で、熊本市や山鹿市などでは、社会的検査を積極的に実施されている。菊陽町では、検査等の実施は予算化されていない。コロナ感染で生活が困窮している人たちへの対応が必要ではないか。特に、女性の非正規雇用の方へのしわ寄せが起きている。 ・同和団体助成金で、前年度は約半分しか使われていないとの報告であった。任意運動団体への支出は問題であり、削減を求めてきたが、前年と同額の予算になっている。 ・マイナンバーカード関連の予算で、委員長報告では、2月末に25.4%の取得となっているが、3月からマイナンバーカードを国民健康保険証として使えるようになると言われていた。一緒になると、個人情報が一括管理されかねない危険性を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館新築工事には国から助成される6億7,500万円も含め13億5,000万円が工事費及び管理費として計上され、着工に向け進んでいる。 ・空港線延伸や新原水工業団地建設後の原水地区の将来像を見据えて立案された原水駅周辺土地区画整理事業にも約3,000万円が計上されている。 ・社会福祉の充実、子育て支援にも手厚い支援がされている。保育と教育の充実、及び環境整備関連予算も計上されている。 ・地方創生関連は、防災管理費・小中校のパソコン予算・町内巡回バス・乗り合いタクシー関連・地域おこし協力隊などの事業にも手厚く予算が計上されている。 ・農政関係では、県事業である白水台地の送水管整備事業に1,710万円を負担し、実施設計が予定されている。新町井手・南方井手改修工事には今年分合わせて8,000万円が計上され、改修工事が行われる予定となっている。

◇議案第18号 令和3年度菊陽町国民健康保険特別会計予算について

◇議案第19号 令和3年度菊陽町後期高齢者医療特別会計予算について

【議案第19号に対する反対討論】 小林久美子議員

- 後期高齢者保険料の引き上げが行われているため。
- 制度当初は軽減措置があったが、この数年で打ち切られているため。
- 75歳以上の窓口負担を1割から2割負担にする計画が進んでいるため。



◇議案第20号 令和3年度菊陽町介護保険特別会計予算について

◇議案第24号 町道路線の認定について

【議案第24号に対する反対討論】 北山正樹議員

- 行き止まり道路の維持管理費用が発生するため。

■議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号	結果	表決数		廣	矢	大	阪	西	那	佐	中	北	布	坂	渡	佐	甲	岩	小	福
		賛成	反対	瀬	野	久保	本俊	本	須	々木	岡	山	田	本秀	辺	藤	斐	下	林	島
議案第8号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第15号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第18号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	可決	15	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 ※報告は採決がないため削除しています。

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査

Q 町内産農産物を活用した地方創生の在り方は

A 農産物直売所で、ニンジンジュースの販売ができるよう進めていく



阪本 俊浩 議員



菊陽ニンジン



消火訓練

地産地消からの地方創生

消防団員報酬増の提案

Q 特産品ニンジンや町内産農産物の地産地消対策をどう考えて行くのか。また、町内農産物を活用した町民の東西交流を押し進める考えはあるか。

A 町内産農産物のPRに努め、直売所でニンジンジュースが販売できるように進めていく。2月には小中学生などにニンジン2本を配布した。ふるさと寄付金の返礼品とする計画もある。町民の東西交流については「さんふれあ」を都市部と農村部の交流拠点として町民の交流を進めていきたい。

Q 現在、菊陽町では、団員一人当たりの報酬が2万円である。菊池広域連合内の菊池市、合志市、大津町も同額の2万で申し合わせがあつていと思われ。阿蘇や球磨地区では、ほとんどの市町村で3万円以上となっている。全国平均は、3万925円で報酬アップを図るのは当然だと思うがどう考えているのか。

A 菊池広域連合を形成する2市2町の首長の会合の中で、消防団員の報酬等の改定について提案し協議していきたい。

Q 保育所の安全対策をどのように講じているのか

A 保育所保育指針に基づき訓練や新たな事業を実施している



中岡 敏博 議員



Q 園内への不審者侵入時対応訓練の実施、マニュアル作成、建物の管理において犯罪を防ぐための取り組みや対策は。

A 2か月に1回、年に6回、様々なケースを想定した訓練を警察等を講師に招き実施している。マニュアルは保育所保育指針、国の通知に基づき作成している。建物管理上では、防犯カメラでの来園者の確認や門の施錠を極力おこなっている。

Q 来園者の受付や動線を決める、無断立入禁止等の貼り紙も効果があると考えられるがどうか。

A 様々な面について検討していく。



Q 園外活動中の交通事故を防ぐための取り組みや対策とは、キッズゾーンの設置およびキッズガードの配置を積極的に推進するべきではないか。

A 交通安全訓練、連絡体制の充実、保育所等の園外活動で利用する道路の緊急安全点検をおこなひ、危険箇所の抽出および修繕等の対策を実施。交通事故防止、安全確保のため見守り活動をおこなうキッズガードを配置した場合、人件費を助成する事業を開始している。キッズゾーンの設置について警察と具体的な協議はしていない。

Q 非常食としての離乳食の確保を

A 災害時に提供できるよう、一定の離乳食備蓄は進めたい



西本 友春 議員



Q 熊本地震での熊日の記事では、「避難所には粉ミルクか大人用の食料はあるが、離乳食がない」と困惑した声、宇城市の避難所では「ストックしていたベビーフードがなくなり、避難所にも離乳食があればありがたい」との声でした。近年、添加物不使用のお米と野菜の離乳食。グルテンフリーで安心な離乳食が開発されました。熊本県産のにんじん、かぼちゃ、ほうれん草の三種の袋で構成されています。非常食としての離乳食の確保をどのように考えているのか。

A 幼児向けの備蓄としては、現在、液体ミルクは用意しているが、離乳食については備蓄は行っていない。液体ミルクや離乳食の賞味期限が、通常の非常食と比べ短いことや、新鮮なものをできる限り多く提供したいとの思いから、(株)赤ちゃん本舗と「災害時物資供給協定」を締結し、災害時には、液体ミルクや離乳食等の供給を受けることができるようにしている。しかしながら、大規模災害時にも即時に提供できるように、一定の離乳食の備蓄については、進めたいと考えている。

その他の質問

- ・避難所開設マニュアル作成について
- ・新型コロナ対策(ワクチン接種)について
- ・おくやみコーナーの設置について

Q 消防団員の出動手当は見直すべきではないか

A 菊池管内2市2町で、どのような内容にするか検討していく



那須 真理子 議員



Q 4年前の一般質問の検証を踏まえ、現時点での消防団員の確保は進んでいるか。

A 4年前と同じ404名であるが、令和2年度は23名の新人団員があった。

Q 条例定数は460名である。平成13年に改正されているが、今後はどうか。

A 改正は考えていない。必要性は益々高まってきているので、今後も確保に努め、地域の防災力を守っていききたい。

Q 今や防災や減災にはドローンの導入は絶対不可欠である。現時点での進捗はどうか。

A 菊池広域連合消防本部で2基導入している。

Q 防火水槽の今後の取り扱いと、規約の必要性をどう考えるか。

A 消火栓と同様に大変重要な物であるため、適切に設置していく。また、規約についても、取り決めをしていないものもあるため、今後はそれらに関する対応していく。

Q 防火水槽の今後の取り扱いと、規約の必要性をどう考えるか。

A 状況によるが、保険診療として本人負担。

Q その時の費用はどうか。

A 状況によるが、保険診療として本人負担。

Q 新型コロナウイルス接種後の身体の異常にはどのように対応するか。

A まずは接種を受けた医療機関やかかりつけ医に相談し、その後は県の専門相談窓口につながる。



Q これまでの基本構想・総合計画の検証方法は十分だったと考えるか

A 外部の評価もしっかりやっていきたい。方針的にはそういう考えで取り組んでいる



渡辺 裕之 議員

年度	項目	進捗状況	課題
令和2年度	防災活動の推進	〇	
令和2年度	子育て支援の充実	△	
令和2年度	高齢者福祉の向上	△	
令和2年度	環境美化の推進	〇	
令和2年度	観光振興の推進	△	
令和2年度	産業振興の推進	△	
令和2年度	教育振興の推進	△	
令和2年度	文化振興の推進	△	
令和2年度	スポーツ振興の推進	△	
令和2年度	健康増進の推進	△	
令和2年度	防災活動の推進	〇	
令和2年度	子育て支援の充実	△	
令和2年度	高齢者福祉の向上	△	
令和2年度	環境美化の推進	〇	
令和2年度	観光振興の推進	△	
令和2年度	産業振興の推進	△	
令和2年度	教育振興の推進	△	
令和2年度	文化振興の推進	△	
令和2年度	スポーツ振興の推進	△	
令和2年度	健康増進の推進	△	

毎年進捗状況や課題を検証している自治体の評価表

Q 「推進体制の強化」に何度も町民やNPOや企業がでてくる。行政だけで考えて、検証して実行するというのは何十年も前に終わって、今は住民の多様化した問題に行政セクトだけで解決するというのは不可能。だから大いに住民や議会も巻き込んで、任せてしまおうということも大事ではないか。

A 行政だけで計画を進めるのは難しいというふうに思っており、町民の参画、協働が求められる施策については、町民、いろんな団体の方々に協力いただきながら、現状分析をやりながら、外部からの評価も受けながら、

しっかりと総合計画を進めていきたい。

Q コロナによる財政への影響について、令和2年度の歳入、個人住民税、法人住民税、固定資産税及び保険税など、現時点で例年に比べて少ないなどの影響はないか。

A 地方税については、一定期間において無担保かつ延滞金なしで1年間の徴収猶予を適用できる。現在、50件の申請、約8,400万円の減収の見込み。国民健康保険税は、29件の申請、約600万円の減免だが、減免分については、国、県の交付金で全額交付される。そのほか、約1億円の減収が見込まれるが、減収分については減収補填債を借入れる。その元利償還金は、後年度の普通交付税、基準財政需要額に算入される。令和2年度の地方税等収入が大きく減少の見込み、地方消費税交付金など一部の減収分は、地方債などで補填することとしている。

Q 消防団協力事業所表示制度の導入を提案

A 消防団員の確保につながるメリットのある制度として導入を検討



矢野 厚子 議員

Q 県内では33の市町村が消防団協力事業所の表示制度を導入し、地域防災体制の充実強化に協力している事業所にステッカーの表示や、入札時のランク決定時のポイント付与などの対応をしている。町でも多くの事業所が災害時に人や機材を出して協力していると聞いている。中には全員が消防団員という事業所もあると聞いている。町もそのような企業に対して感謝し、その貢献を評価するべきではないか。

A 消防団協力事業所表示制度の表示証は社会貢献活動の証明書類となり消防団員の確保につながるメリットもあるので、導入を検討している。

Q 学生消防団活動認証制度というのがあり、就職活動の時に、消防団の活動を通して地域社会に貢献したかどうかの審査を経て、認証状と認証証

明書を発行し、就職活動の一助となっている。

町内の大学生を消防団員として勧誘するのに役立つのではないかと。

A 現在、団員数確保のため要件を緩和し、学生の入団を認めている。消防団活動認証制度についても検討する。

その他の質問

*防災士の活動の現状と課題と育成目標

*自主防災組織の活動状況について

*光の森防災広場の現在の活用状況と今後の活用



Q 白川治水どうする。空港鉄道計画待つだけか

A 今年度測量開始 県と情報共有しつつ施策考える



甲斐 榮治 議員



白川護岸工事の光景



三里木駅界限

Q 白川の治水について、町に基本的考えはあるか。中流域の工事の状況や住民の要望を把握しているか。国や県との連携はできているか。

A 小碓橋下流は国土交通省、その上流は県の管轄なので、その両者と連携しながら治水を考えている。流域の区長等を通じて地域の意見は把握している。それを踏まえながら毎年8月には県に意見を述べている。今年度から計画が変わって、中流域の測量が始まる。堤防や堰や川底の改善が計画されるとの情報を得ている。

Q 空港アクセス鉄道計画と菊陽空港線延伸事業はわが町のみならず、空港周辺市町村や県全体の浮揚にも大きくかわる問題である。その進み具合はどうなっているか。

A 町は県の動きをただ待っているだけでよい。空港アクセス鉄道については、熊本県の空港アクセス検討委員会で、さらに詳しくかつ多角的に検討が加えられている。町は県との情報共有をはかりながら、事業化の判断がなされたら、必要な施策に取り組む。菊陽空港線延伸は、県と町の事業区間とともに予備設計業務に入っている。

Q 子どもの貧困や虐待への対策の状況はどうか

A 福祉課・社協・生活サポートセンターと連携し相談体制を作っている



小林 久美子 議員

Q コロナ禍により、自殺者も増え、男性より女性の方が多い。非正規労働者の失業も女性の方が深刻である。ひとり親家庭の貧困や女性への虐待なども増加している。経済的、精神的にも困った人たちに対応する町の相談体制はどうなっているのか。

A 福祉課・社会福祉協同会・生活サポートセンターを核として連携した相談体制を作っている。令和元年95件、令和2年230件の相談があり、令和2年1月からこの相談窓口を設置し、令和3年までのべ254件（1月平均20件）の相談があった。

Q コロナ禍のもとで、就学援助の相談や申請の状況はどうなっているのか。年度途中で家計が困窮した場合に、迅速に対応できているのか。さらに、PTA会費やオンライン学習通信費等を就学援助の対象として検討してほしい。

A 就学援助は、通常4月申請だが、随時受け付けている。申請方法は、各学校に申請し、教育委員会でも世帯全体の所得を見て判断し、認定する。令和2年度6月から令和3年2月までに30名近くの追加認定がされている。



その他の質問

- ・ワクチン接種の準備状況について
- ・PCR検査拡大について

Q 新型コロナ対策のワクチン接種事業を問う

A 全庁を挙げて取り組む



北山 正樹 議員

新型コロナワクチン接種事業について

Q 100年前のスペイン風邪が、収束まで3年を要した。新型コロナに打ち勝つにはワクチンの接種で、国民が集団免疫を得ることが大事である。どう取り組むか。

A 対策室を中心に全庁を挙げて取り組む。

Q 集団免疫獲得のために、買い物ポイントを付与するなどのほか、摂取率を上げる方策は。

A 係員や、コールセンター員の増員を図り、ホームページで発信をしていく。

A 集団接種の場合、商業施設等も必要があれば検討する。

Q 町立保育園の民営化で得た財源の使い道は。

A 施設整備のために基金を積み上げながら、個別のテーマに対応をしていく。

Q 予約日を忘れたとか、副反応の報道とかでワクチンが余る場合が出てくる。その際、キャンセル

待ちの人に接種をするとか。貴重なワクチンを無駄にしない方策は。

A 医師会と協議して対応していく。



Q 住居表示の整備を

A 住民に趣旨の周知を図り、理解と協力を得て行う



岩下 和高 議員



その他の質問

- ・防犯カメラの設置について
- ・新型コロナワクチン接種について

Q 現在、住居表示の整備は西部のほうから西小校区の一部まで整備してあるが、三里木北区・新成区・境の松区は平成25年以降も開発が進み世帯数が今もなお増えており、自治会活動をする中で昨今、防犯上表札がない世帯も多く地番では世帯の特定をするのが、難しくなってきたとの声が聞かれます。また地番は桁数も多く、命に関わる緊急車両の到着の遅れなどのおそれもあります。

A 住居表示の推進は、住居表示に関する法律により住民に、趣旨の周知徹底を図り、理解と協力を得て行うように努めなければならぬとあり、住居表示を行うには、地域住民の総意が得られ町民の利便性、暮らし向上につながる場合に検討を進めていく、住居表示の実施意向調査を実施するには、平成25年当時の一つのエリアとしていた三里木北区・新成区・境の松区の一部を含めた意向調査を実施した上でエリアの再検討も含めて検討していく。

政務活動費の収支報告書等を公開します

令和2年度分の議員から提出された政務活動費収支の収支報告を公開します。

なお、政務活動費の収支報告書及び証拠書類の写しは、菊陽にお住まいの方は事前の申し出により菊陽町議会事務局にて閲覧することができます。

- ・ 閲覧場所 議会事務局（菊陽町役場 3階）
- ・ 閲覧時間 午前9時～午後5時（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

令和2年度菊陽町議員政務活動費実績表

表-1

単位：円

単位：円

議員氏名	交付額	実績	返還額	議員氏名	交付額	実績	返還額
廣瀬 英二	申請無し	—	—	布田 悟	240,000	117,605	122,395
矢野 厚子	240,000	94,171	145,829	坂本 秀則	240,000	0	240,000
大久保 輝	240,000	0	240,000	渡辺 裕之	240,000	115,010	124,990
阪本 俊浩	申請無し	—	—	佐藤 竜巳	240,000	0	240,000
西本 友春	240,000	0	240,000	甲斐 榮治	240,000	37,116	202,884
那須真理子	240,000	42,972	197,028	岩下 和高	申請無し	—	—
佐々木理美子	240,000	0	240,000	小林久美子	240,000	55,492	184,508
中岡 敏博	240,000	0	240,000	福島 知雄	申請無し	—	—
北山 正樹	240,000	68,877	171,123	上田 茂政	申請無し	—	—

【使用率：17.02%】

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、調査研究その他の議員活動が制限された結果、表-1のような状況になりました。

交付申請無しの議員、申請しても使用していない議員がみられますが、該当する議員は活動についての経費は自己負担で行っています。

【注釈】

政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付されるもので、菊陽町では議員一人当たり月額 20,000 円を交付しています。

菊陽町議会では、「菊陽町議会基本条例」等を定め、議会が担うべき役割を果たすことができる議会機能の強化を目指し、政務活動費を有効に活用するとともに、その使途の透明性を図るため、収支報告書と領収書の添付を義務付け残額については町に返還することになっています。

開かれた議会に関する調査特別委員会における調査結果について

令和元年12月12日に「開かれた議会に関する調査特別委員会」の設置が議決された。合計8回の委員会を開催し、調査し決定した。

【調査結果報告】

（議会モニター制度）

募集の方法・議会への関わり方・年間計画・運営などについて調査検討し、協議の結果凍結という結論に達した。

【町民と議会の語る会】

開催回数・町政との関わり方・語る会後の意見の集約・議員の役割分担・議員間の共通意識などを調査検討し、協議の結果回数を定めず必要に応じて開催する方向で条例の改正をするという結論に達した。



厚生労働大臣表彰おめでとうございます！

きくよう虹の会

「きくよう虹の会」がボランティア功労者団体として、地域活動に貢献したことにより、厚生労働大臣表彰を受けました。代表者の川端フジノさんに、どんな団体かお話をうかがいました。

結成の動機は当時の社協職員さんとの出会いで「菊陽で何らかの障がいを持った皆様と何か一緒にできることはないか」の提案に賛同し、平成8年1月に「きくよう虹の会」を結成。目的は「障がいを持った人たちの自立支援と、多くの人たちに正しく理解してもらうこと」から始め、現在は15名で活動しています。手作りの竹太鼓・樽太鼓・和太鼓を叩いて演奏する活動です。最初の発表は平成8年のすぎなみフェスタで、その後老人福祉センターでのジョイントコンサートや平成9年には熊本県立劇場でのこころコンサートにも出演、更にハートフルコンサートなどにも出演しました。その後も依頼により町内の夏祭りや、イベントにも出演しています。立ち上げ当初の「出来る可能性のある事を、出来るように伸ばす」という想いは実現できていると思います。



25年前の立ち上げの頃は、障がいを持った子供を人前で活動するよう誘うことに、まだまだ理解の少ない時代で、社会とつなげることが大変でした。

課題は大きな楽器を持って移動するために車の手配が今も大変です。

今後の活動の予定は、現在コロナの影響で活動ができにくい状況ですが、声がかかれば出演したいと思っています。

菊陽町や皆様に願うことは、いろんな障がいを持った人たちを正しく理解して欲しいと思います。「きくよう虹の会」に興味のある方は、毎月第1・第3土曜日の10時～12時まで老人福祉センターの大広間で活動しているので、見学に来てください。ただし雨の日は運ぶ時に太鼓が濡れるのでお休みです。

取材後記

「きくよう虹の会」25年間もほとんどのメンバーが欠けること無く続いています。「陰で多くの皆様の支援があるから」だと思います。その陰の人たちにも感謝とおめでとうございますを伝えたいと思います。

今後も「きくよう虹の会」が活躍されることを願っています。

表紙の紹介



菊陽町在住の3家族
(いとこどうし・おなかには新しい命も)

編集後記

佐々木理美子

菊陽町の議会だよりは現在6人の委員で作成しています。定例議会後の第1回委員会で役割分担を行い、記事作りが始まります。黄色い広報委員腕章をつけ、皆様のご意見をうかがいに回ります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

そして議会は皆様の声を行政に届ける場所です。菊陽町のこんなところが好きだからと皆さんとの共感をもとに、すみよい町であるために議会、行政が是々非々で議論を尽くしております。菊陽町の未来をつくるのは私たち町民次第です。これからも議会だよりに興味をもっていただき、皆様が思うまちづくりを語りあえればと思います。

みんなの議会 傍聴は、お気軽に

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

議長 上田 茂政

編集者

委員長 西本 友春

副委員長 福島 知雄

委員 佐々木理美子

委員 大久保 輝

委員 矢野 厚子

委員 廣瀬 英一

この議会だよりは再生紙を使用しています。